



Ramadan期間の街を歩いてみた



今回も引き続き、「Ramadan」に関することを紹介します。今回はRamadan期間の街の様子についてです！

街はRamadanの開始に向けて三日月や星、ランタンの形をした飾りで彩られていきました。この特別な期間はヨルダン中がお祭りのようになるのです。

ただ、道で飲食をする人はほぼいません。キリスト教の人たちもこの期間は断食をする人に合わせて公の場所での飲食を行わないようにするそうです。そして、レストランやカフェといった飲食店は、断食の時間はシャッターを閉め、営業をしません。マクドナルドやスターバックスといった世界的チェーン店は営業をしていましたが、日中にイスラム以外の人が飲食する店内の様子が外から見えないように工夫がされていました。



窓に反射シートが貼られ、中の様子が見えないようになっています。

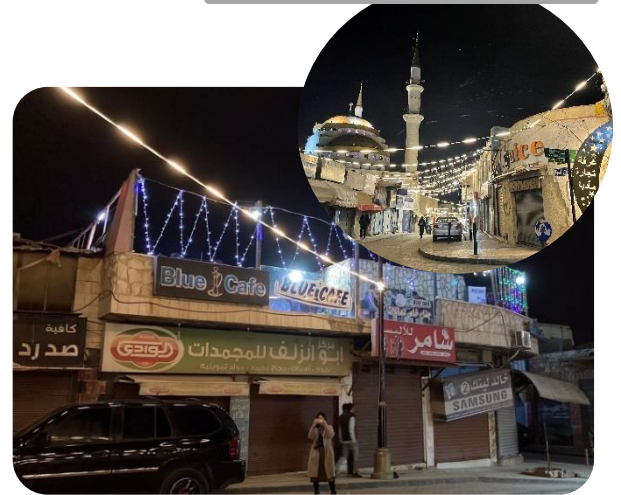


夕暮れが近づき、だんだんと暗くなると飾りに明かりが灯り、きらきらと街が輝き始めます。

しかし、しばらくしてお店が徐々に閉まっていきます。それは、イ

フタルの食事をとるためです。午後6時過ぎ、普段なら人でにぎわう街が、この時間だけは人や車がいなくなり、静かになります。

そして、午後8時ごろからイフタルを終え、営業を再開するお店へ買い物に向かう人々にぎわいを取り戻します。





道を歩いていると、商店に限らず、お家や公共施設でも、電飾をつけているところがありました。クリスマスのイルミネーションのような…気合を感じました。

あるお店ではラマダン限定の価格表を発見！その話を同僚にすると、「今年は少し野菜の値段が上がったのよ。」と残念そうでした。ラマダン期間は商品の値段も変わるのかと驚きました。

[illegible]

活動先の学校の廊下や
教室にも装飾がされました。どうして「三日月」や「星」、「ランタン」を飾るのか、気になって尋ねてみると、まず、「三

日月」や「星」は、月を観測してラマダンの期間が決まり、イスラムのシンボルの意味を持つためということでした。「ランタン」は、電気もない昔、月の観測へ向かうときにランタンを使って道を照らしたことから転じて、神聖ならせる意味を持つためと教えてくれました。（「諸説あって、詳しくはわからないけどのよ。」と話していたので、詳細は調べてみてください。）



あるクラスでは、教室のドアの周りの電飾に貼
り付け、本当のランタンのように光る飾りに！



よい機会なので、子どもたちとランタンを作りました。子どもたちがそれぞれ好きな色を塗ったり、絵や言葉をかいたりして素敵な飾りが完成しました。

ランタンを作る授業の様子をまとめ
た動画が学校のFacebook
で紹介されました。
みられる方はご覧ください！



Let's talk in Arabic 🎵



ラマダンになるといろいろな所で左の文字を見かけました。
 人々もこの言葉を口にして挨拶をし、特別な期間をお祝いしま
 す。ラマダン限定の挨拶、一緒に学んでいきましょう♪

رمضان مبارك

読み方：ラマダンムバーラク
意味：良いラマダンを

رمضان کریم

読み方：ラマダンカリーム
意味：恵み多いラマダン、おめでとう

今後、^{きんご}ラマダン^{きかん}期間^{きやうと}のイスラム教徒^{ひと}の人に^あ会^{さい}った際^{あいさつ}には、^{つか}ぜひこの挨拶^{あいさつ}を使^{つか}ってみてください。



では、また次回! مع السلامة

